環境研究総合推進費制度における研究課題

令和5年度 追跡評価結果報告書

令和6年3月

環境省大臣官房総合政策課

環境研究技術室

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます
　この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料［Aランク］のみを用いて作製しています。

目　次

第Ⅰ部 追跡評価結果 1

1.はじめに 1
1.1 調査の目的 1
1.2 調査の内容と方法 1
1.3 調査フロー 4
1.4 調査の実施・評価体制 5
2.評価結果 6
2.1 追跡書面調査の結果 6
2.2 制度書面調査の結果 9
2.3 追跡・制度個別調査結果 13
2.4 環境研究総合推進費制度の充実に向けて 20

第Ⅱ部 資料編 24

1.追跡書面調査結果 24
1.1 追跡書面調査の実施 24
1.2 調査結果の概要 24
1.3 調査結果 25
2.制度書面調査結果 55
2.1 制度書面調査の実施 55
2.2 調査結果の概要 55
2.3 調査結果 56
2.4 制度評価結果の経年比較 84
3.追跡・制度個別調査結果 88
3.1 追跡・制度個別調査課題の選定 88
3.2 追跡・制度個別調査の結果 92
4.書面調査票 103
4.1 追跡書面調査票 103
4.2 制度書面調査票 114

要旨

環境省の競争的資金制度である環境研究総合推進費によって実施され、令和2年度（2020年度）及び令和4年度（2022年度）に終了した研究課題を対象として、追跡評価を実施した。追跡評価にあたっては、令和2年度終了研究課題の研究代表者に対する追跡書面調査及び追跡個別調査（ヒアリング調査）により、環境行政への反映状況、成果の実用化の状況等を調査した。また、令和4年度終了研究課題の研究代表者に対しても制度書面調査及び制度個別調査（ヒアリング調査）を行い、課題採択プロセス、中間評価実施方法等への意見等を整理した。

これらの結果をもとに、追跡評価専門部会（有識者8名で構成）において、今後の環境研究総合推進費制度の充実に向けた諸課題及び対策の検討を行った。

調査の結果、環境研究総合推進費制度は全体としては概ね順調に機能していることを確認した。

また、制度の一層の充実に向けた示唆が得られた。主な示唆は次のとおり。

- 環境政策の反映について、行政ニーズの提示の際に政策貢献先をより明確に示すことや、研究者と環境省担当官との情報交換を充実するなど、研究成果を環境政策貢献につなげるための方策について更に検討される必要がある。
- 研究者と行政担当者のコミュニケーション・相互理解の促進については、行政推薦の有無に関わらず行政ニーズに合致した課題について、これまで以上に環境政策に関する情報や意見交換の場の提供などが有効である。
- ミディアムファンディング枠（MF 枠）や若手枠B（300 万円以下）を設けるなど公募枠の多様化に取り組んでいる。様々な分野の研究者が参加することを推奨するなどの PR、採択数の増加による評価委員や事務・PO の負担増への対応など、毎年の実施状況を多角的に点検して適宜最適化していく必要がある。
- 若手研究者の確保が厳しい状況を意識しつつ、若手研究者を取り込むため応募申請や報告など手続きの簡素化による負担の軽減を図るとともに、若手研究者の育成のため斬新な発想を活かし研究を進めることができるような仕組みを継続的に検討していくことが必要である。
- 令和2年度制度評価報告書を受け、行政ニーズや戦略的研究開発課題の形成プロセスの見直し、MF 枠や若手枠 B 枠といった小規模枠の設定、研究者・評価委員等の負担軽減に向けた中間評価や事後評価方法の見直しなど、推進費制度の大きな見直しが進められてきている。これら見直しの効果についても点検していくことが必要である。

Summary

The Ministry of the Environment conducted a follow-up survey of the Environmental Research and Technology Fund, a competitive fund implemented by the Ministry.

In the current fiscal year 2023, the follow-up survey targeted the research and development topics that ended in FY 2020 and FY2022.

On the basis of the surveys, the Evaluation Committee comprising 8 experts discussed and identified matters that will contribute to the system management of the Fund in the future.

As a result of the survey, it was confirmed that the Environmental Research and Technology Fund system is generally functioning smoothly as a whole.

Suggestions for further enhancement of the system were also obtained.